

「探求心を持ち続けること」が 夢を実現させるカギとなりました。

写真

まるうじ宮下良平農園 宮下 あすみさん

平成21年に夫婦で農園を開業し、積極的な設備投資により夏季はエダマメ、冬季はレタスを主体とした農産物の栽培と出荷を行っている。地域の農業を担う若手リーダーとして人望を集めている。蓄積された農業経験から生まれた美しい「三ツ星えだまめ」は絶品で、ジェラートにしても素材の味を引き立たせることができる。



起業までのいきさつ

専業農家に生まれた私は、都会に憧れつつも頭の片隅には「兄弟の中で家業を継ぐのは私の役目」という思いが幼い頃からありました。農業をやりたいという思いが強い夫との結婚がきっかけで、夫婦揃って脱サラし、実家の農業を手伝いながら、夫婦二人で経営する新たな事業として夏季の枝豆栽培をスタートしました。

起業を行う上で大変だったことは？

父の事業の土台がしっかりしていたので開業はスムーズでしたが、そこから数年は父の事業の手伝いに忙しく、本業であるべき自分たちの事業に注力できない状況が続き長く悩みました。事業を成り立たせ経営が軌道に乗るまでの期間は、夫と共に命を削って仕事をしました。最初は課題すらわからず、種をまいてどうなるか…結果が出るのが数カ月後なので、収穫を迎えるまで何の保証もなく、不安は絶えずありました。そんな苦悩奮闘した時期があったからこそ、農業は健やかで、穏やかな恵まれた仕事であると改めて感じることができました。一山越えて少し穏やかさを得た今が本当にありがたく尊い時間に思えます。その環境は自分でつくるもので、その維持にも工夫と努力が必要なのだとことを就農10年が経過した今、感じています。

起業してよかったことは、人生において多くの自分の時間を手に入れたことです。怠けようが働こうが日々の全てが自分次第です。これは大変贅沢なことであり、とてつもなく恐ろしいことでもあります。頑張り次第で売り上げ、評価がついてくるので、すごく気持ちいいですね。農業は朝から晩までコツコツというイメージが強いですが、自分たちの工夫とアイディア、そして強い探求心で、効率よく労働時間を短縮することができますし、とてもやりがいを感じることができます。

エフドアを利用した感想

初めは補助金に関する相談が入口でした。これまでは農業という固定観念にとらわれ、狭い視野で動いていたのですが、エフドアに相談したことで新たな観点を与えてもらい、経営の視野が広がりました。農業の専門家ではないからこそ、意見がストレートで新鮮なので、初心

を思い起こすことがあります。自分が経営者であるということを改めて実感し、意識が高まり、構想を具現化するためにはエフドアのような支援機関の知恵と力が何よりの近道であると実感しました。

今後エフドアを利用する方に一言

経営者は孤独を感じる場面も多いと思います。利害関係抜きに親身に相談に乗ってくれる公的な相談窓口「エフドア」は、心強いかかりつけ医のような存在です。話を聞いてもらうだけでホッとでき、処方箋をもらう感覚があります。ふと頭の上に繰り返し浮かぶハテナはありませんか？一度エフドアに、お話してみてもいいでしょうか。



まるうじ宮下農園で豊かに美しく栽培された枝豆。香り高く甘み強い色鮮やかな枝豆です

まるうじ宮下良平農園

〒藤枝市助宗1160-4

☎054-374-2310

✉miyashitagri@gmail.com